伊藤忠エネクス株式会社

(東証プライム 証券コード:8133)

2023年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2023年1月31日





ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払ってはおりますが、掲載された情報の誤り及び当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。したがって、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- ・本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準(IFRS)ベースで記載しています。
- ・本資料では、下記のとおり表記を置き換えております。

「営業活動に係る利益」

⇒「営業利益|

「当社株主に帰属する四半期純利益」 ⇒「[

⇒「四半期純利益」



業績ハイライト



2023年3月期第3四半期 決算概要

- ■「第3四半期純利益」は、前年同期差 5億円減少の108億円。 但し、前第3四半期に続き100億円を超える好調な決算。
- 産業ビジネス事業が非常に好調。
- 電力・ユーティリティ事業での資源価格の高騰による影響と 大規模太陽光発電所(メガソーラー)の子会社化に伴う評価益の反動により減益。

売上収益 7,630 億円 (前年同期比+16.1%)

売上 総利益

671億円 (前年同期比+6.2%)

営業利益

四半期 純利益 170億円 (前年同期比△5.5%)

108億円 (前年同期比△4.7%)





- ◇ 2023年3月期第3四半期決算概要
 - ① 全社概要
 - ② セグメント別概要

♦ Appendix





2023年3月期第3四半期決算概要

① 全社概要



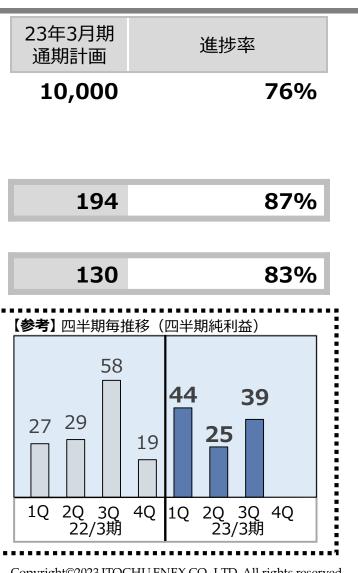


2023年3月期第3四半期 決算/サマリー 産業ビジネスが好調もメガソーラー子会社化に伴う評価益の反動により減益

(億円)	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
売上収益	6,570	7,630	+1,060
売上総利益	632	671	+39
販管費	▲ 498	▲ 502	△4
営業利益	179	170	△10
持分法による投資損益	16	16	+0
四半期純利益	113	108	△5
売上総利益に対する販管費率	78.9%	74.8%	△4.1 pt
中間配当(円/株)	23	24	+1

- 「第3四半期純利益」は、前年同期差 5億円減少の108億円。 但し、前第3四半期に続き100億円を超える好調な決算。
- 産業ビジネス事業が非常に好調。
- 電力・ユーティリティ事業での資源価格の高騰による影響と 大規模太陽光発電所(メガソーラー)の子会社化に伴う評価益の反動により減益。

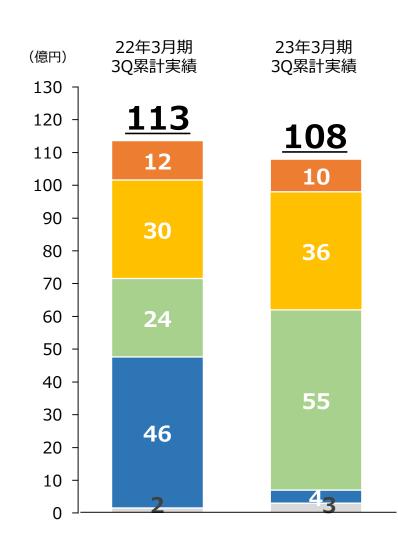




セグメント別 四半期純利益

CSHIFT! PORT

産業ビジネスが好調もメガソーラー子会社化に伴う評価益の反動により減益



主たる増減要因

ホームライフ (前年同期差:△2億円、計画進捗率:38%)

LPガス輸入価格の下落に伴う販売利幅の縮小等により減益

<mark>-</mark> カーライフ<u>(前年同期差:+6億円、計画進捗率:85%)</u>

CS※小売事業が堅調に推移したことと、ディーラー事業の台当たり粗利益向上により増益

■ 産業ビジネス<u>(前年同期差:+31億円、計画進捗率:197%)</u>

各事業が好調に推移したことに加え、先物等による輸入採算向上により増益

■ 電力・ユーティリティ<u>(前年同期差:△42億円、計画進捗率:11%)</u>

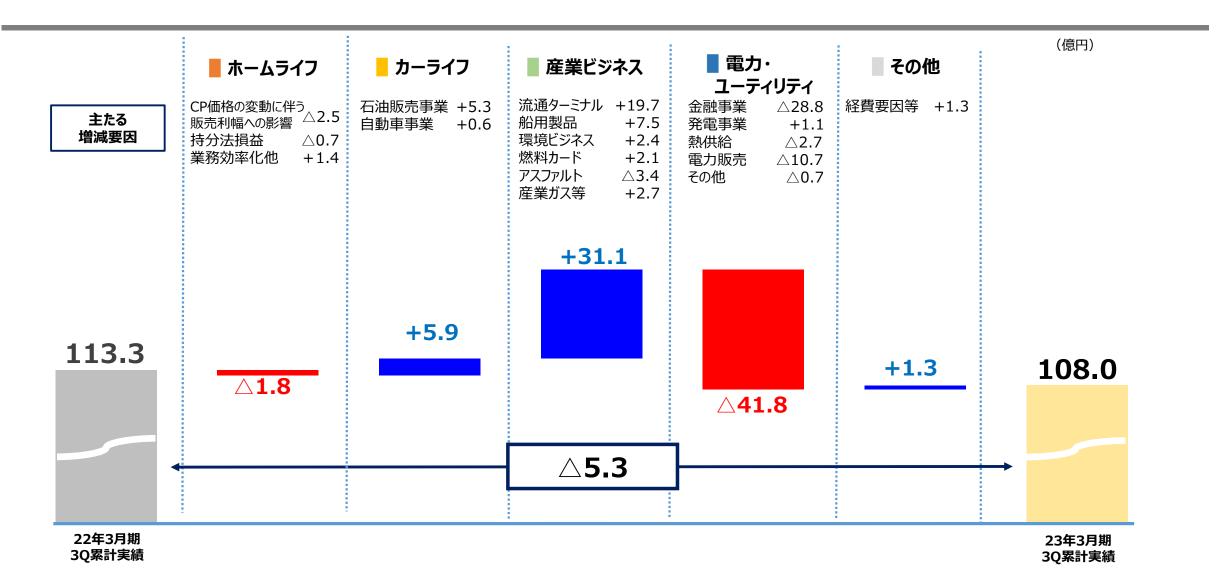
電力小売利幅縮小及びメガソーラー子会社化に伴う評価益の反動により減益

(※)CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所





セグメント別 第3四半期純利益分析



財政状態



季節要因等の影響で営業債権・債務が減少

□ 総資産 : 営業債権・債務の減少により、前期末比49億円

減少し、4,421億円。

□ 株主資本 : 当期純利益の積上げ等により、前期末比59億円

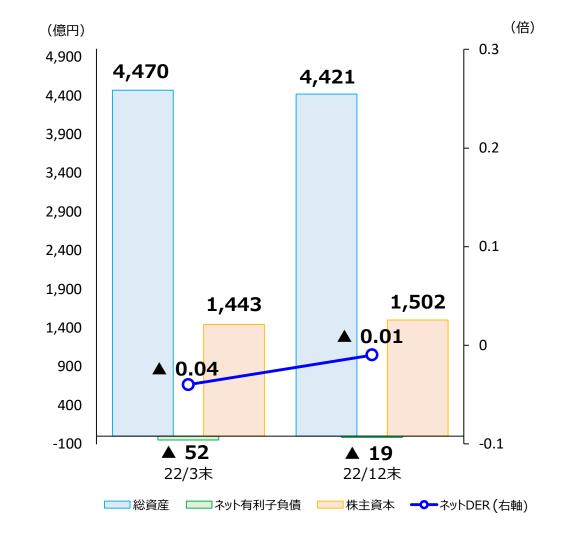
増加し、1,502億円。

□ ネットDER:季節要因による運転資金需要の減少により、

ネットDERが前期末比0.03倍増加し、▲**0.01倍**。

(億円)

	22年3月末 実績	22年12月末 実績	増減
総資産	4,470	4,421	△ 49
ネット有利子負債	▲ 52	▲19	+ 33
株主資本	1,443	1,502	+ 59
株主資本比率	32.3%	34.0%	+1.7pt
ネットDER	▲0.04倍	▲0.01倍	+ 0.03倍









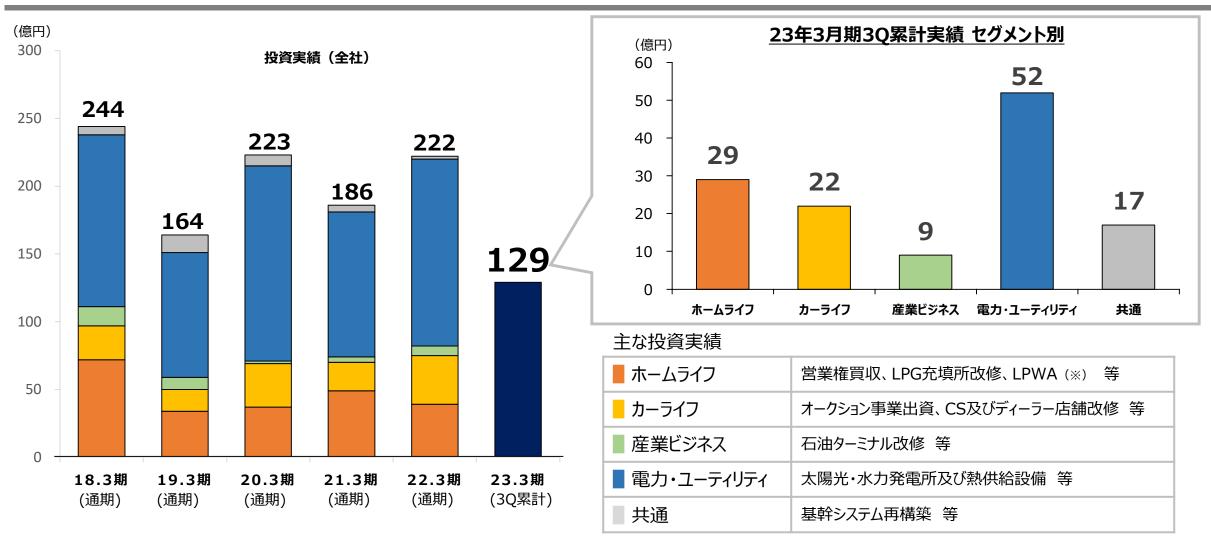


キャッシュ・フロー		20年3月期 3Q累計実績	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績
営業活動によるキャッシュ・	フロー	161	335	294	227
投資活動によるキャッシュ・	フロー	▲10	38	▲152	▲ 96
(フリー・キャッシュ・フロー)		151	374	142	132
財務活動によるキャッシュ・	フロー	▲ 179	▲ 156	▲139	▲309
実質的なキャッシュ・フロー	-				
実質営業キャッシュ・フロー	(※)	266	232	250	281
(※)「営業CF」-「運転資金等の増	[減] (億円)				
営業CF 投資CF 財務CF FCF 実質営業CF	350 - 250 - 150 - 50 - ▲ 50 - ▲ 250 -	266 151 ▲ 10 ▲ 179	374 232 335 ▲ 156	250 294 142 • 152 • 139	281 227 132 A 96 A 309
	▲ 350 []]	20年3月期 3Q累計実績	21年3月期 3Q累計実績	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績



投資の推移 基盤強化を着実に実施し、成長投資案件に取組中



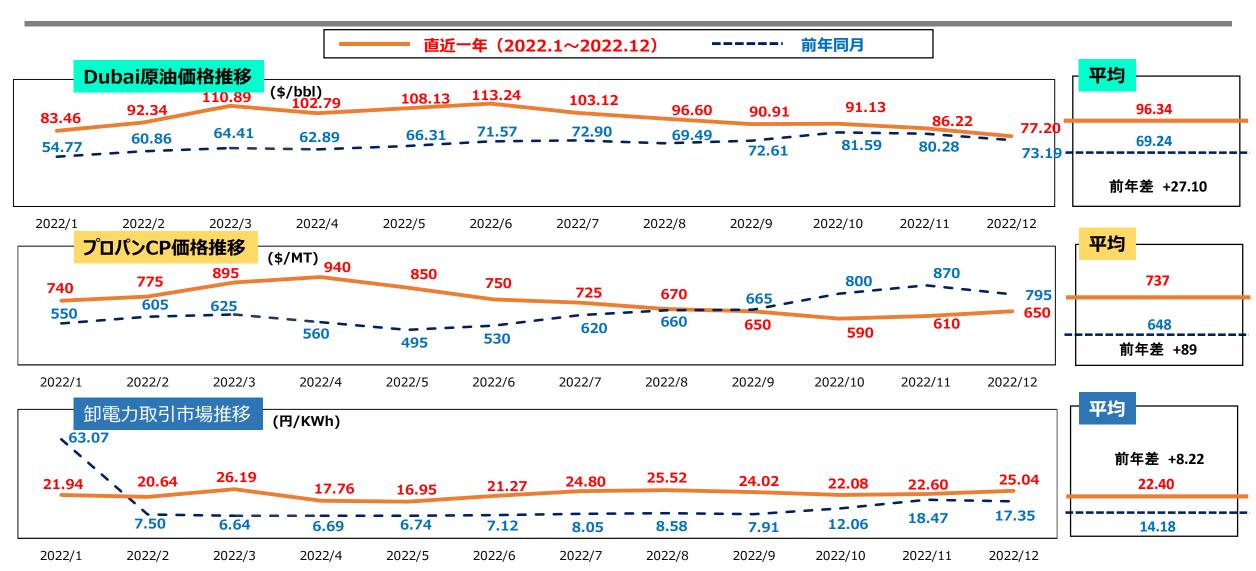




(参考) 市場動向



原油は下落傾向、CPは期初に比べ安値圏、電力価格は高値圏で推移





2023年3月期第3四半期決算概要

② セグメント別概要





セグメント別業績



							(億円)
		22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減	増減率 %	23年3月期 通期計画	進捗率
全社	売上収益 営業利益 当期純利益	6,570 179 113	7,630 170 108	+1,060 △10 △5	+16.1% △5.5% △4.7%	10,000 194 130	76% 87% 83%
■ ホームライフ	売上収益 営業利益 当期純利益	543 10 12	586 6 10	+42 △4 △2	+7.8% △43.0% △15.6%	 26	 38%
_ カーライフ	売上収益 営業利益 当期純利益	3,914 58 30	4,169 67 36	+255 +9 +6	+6.5% +16.2% +20.0%	42	85%
■産業ビジネス	売上収益 営業利益 当期純利益	1,457 34 24	1,997 80 55	+540 +46 +31	+37.0% +136.7% +129.1%		— 197%
■ 電力・ユーティリティ	売上収益 営業利益 当期純利益	655 74 46	878 11 4	+223 △63 △42	+34.0% △84.7% △90.9%		11%

・ホームライフ部門 ・ロガス 齢 3 /雨均



LPガス輸入価格の下落に伴う販売利幅の縮小等により減益

			,
	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
売上総利益	136	126	△10
販管費	▲127	▲122	+6
営業利益	10	6	△4
持分法損益	12	11	△1
四半期純利益	12	10	△2

主たる増減要因 (四半期純利益)

直売顧客軒数は、新規顧客の獲得や営業権買収の推進により、前期末より約11千軒増加の約568千軒。LPガス販売数量は、平均気温が前年同期を上回ったことと価格高騰による節約志向により、前年同期を下回る。

損益面はLPガス輸入価格の下落に伴う

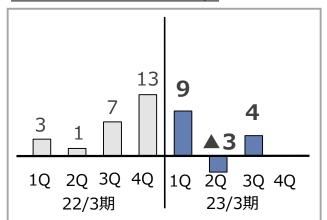
販売利幅の縮小等により減益。

(億円)

23年3月期 進捗率

26 38%

四半期毎推移(当期純利益)



主な関係会社損益	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	3	3	△0
エコア (当社持分51%)	5	3	△2
エネアーク (当社持分50%)	3	3	+0

顧客軒数(千軒)	22年 3月末	22年 12月末	増減
LPガス直売軒数	557	568	+11
電力小売軒数	118	118	+0

販売数量	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減比
LPガス(千トン)	317	311	△2%



カーライフ部門



CS小売事業が堅調に推移したことと、ディーラー事業の台当たり粗利益向上で増益

り増益。

	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
売上総利益	350	360	+10
販管費	▲293	▲296	△3
営業利益	58	67	+9
持分法損益	1	0	△0
四半期純利益	30	36	+6

主たる増減要因	
(四半期純利益)	

CS数は前期末より23ヵ所減少し、 1,613ヵ所。石油製品の販売数量は前年からわずかに増加。自動車販売台数は、 新型車の受注が好調であったが半導体不足による生産台数の減少により、前年同期を下回る。 損益面は、CS小売事業が堅調に推移し、

ディーラー事業も台当たり粗利益向上によ

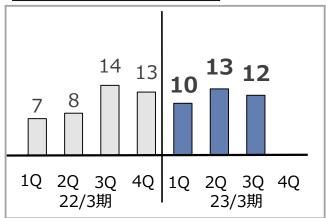
23年3月期 計画

進捗率

(億円)

42 85%

四半期毎推移(当期純利益)



主な関係会社損益	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
エネクスフリート	12	17	+5
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	7	7	+0

<u>販売数量</u>	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減比
ガソリン(千KL)	1,612	1,627	+1%
灯油(千KL)	324	335	+3%
軽油(千KL)	1,744	1,762	+1%
新車(千台)	19	18	△5%
中古車(千台)	16	13	△16%

産業ビジネス部門

各事業が好調に推移したことに加え、先物等による輸入採算向上により増益

		SHI	FT
当向	<i>⊢1.</i> =	上り地	丝

	ᆇ	ш	٦
(1		ш	
\ I	心 、	IJ	,

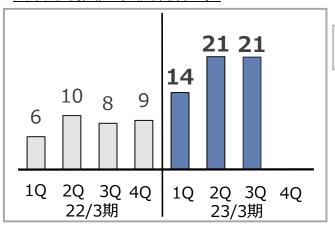
	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
売上総利益	77	132	+55
販管費	▲ 43	▲45	△2
営業利益	34	80	+46
持分法損益	0	1	+0
四半期純利益	24	55	+31

王たる増减要因 (四半期純利益)

船舶燃料事業は外航船向けの重油販売が堅調に推移し、法人向け自動車燃料 給油カード事業は新規顧客開拓を進めたことにより販売数量は前年同期を上回る。 損益面は、各事業が好調に推移したことや、海外市況が乱高下している中、先物の活用等、市況変動を効果的に捉え輸入採算を向上させたことにより増益。 23年3月期 進捗率

28 197%

四半期毎推移(当期純利益)



主な関係会社損益	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
伊藤忠工業ガス	1	3	+1

<u>販売数量</u>	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減比
ガソリン(千KL)	296	264	△11%
灯油(千KL)	124	69	△44%
軽油(千KL)	683	685	+0%
重油(千KL)	1,252	1,259	+1%
アスファルト(千t)	165	167	+1%
産業用ガス(千t)	50	49	△1%



16

電力・ユーティリティ部門



電力小売利幅縮小及びメガソーラー子会社化に伴う評価益の反動により減益

主たる増減要因 23年3月期 (四半期純利益) 計画

進捗率

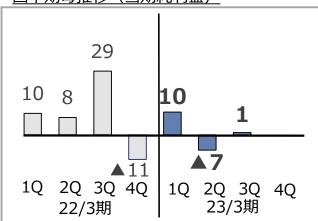
(億円)

	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
売上総利益	69	53	△16
販管費	▲39	▲45	△6
営業利益	74	11	△63
持分法損益	3	4	+1
四半期純利益	46	4	△42

電力小売事業のうち、低圧は新規契約件数の獲得により前年同期を上回るが、高圧は採算販売により前年同期を下回り、全体では前年同期を下回る。熱供給事業は、今夏の平均気温が前年同期を上回ったことに伴う空調利用の増加により販売熱量は前年同期を上回る。損益面は、資源価格の高騰による調達価格の上昇で電力小売利幅が縮小したことと、メガソーラーの子会社化に伴う評価益の反動により減益。

37 11%

<u>四半期毎推移</u>	(当期純利益)



主な関係会社損益	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減
エネクス電力グループ	6	8	+1
エネクスライフサービス	2	2	+0
東京都市サービス (当社持分66.6%)	9	6	△3
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	4	5	+1

販売	数量	22年3月期 3Q累計実績	23年3月期 3Q累計実績	増減比
電力/ (GWh)		1,800	1,502	△17%
dh≣D	高圧販売※	1,328	930	△30%
内訳	低圧販売※	472	571	+21%
蒸気(千トン)	357	302	△15%
熱量(TJ)	928	965	+4%

※速報値ベースでの算出、電力小売については、取次数量を含む





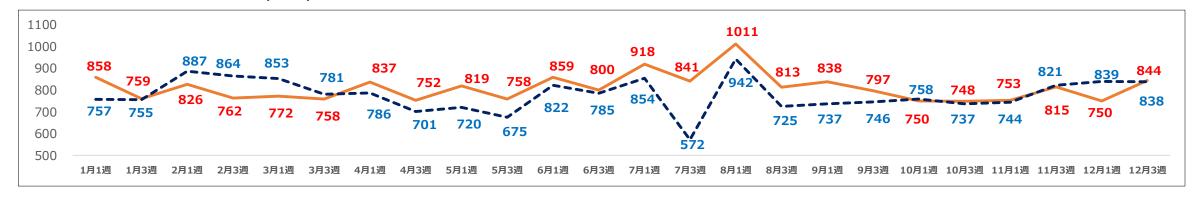




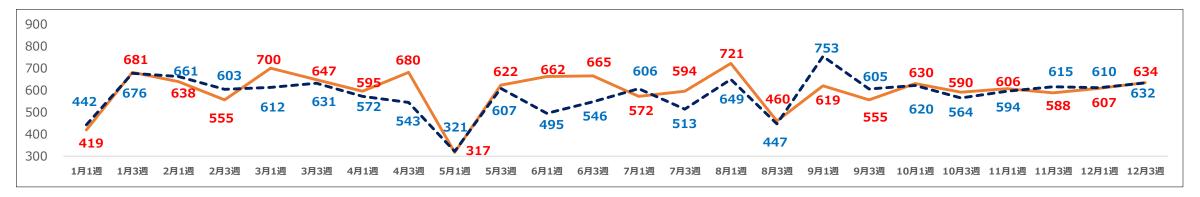
【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計)

ガソリン週間出荷量 単位(千KL)





軽油週間出荷量 单位(千KL)











【参考】LPガス月別販売数量(12月~11月全国統計)

単位(千t)

	12月			1月			2月			3月			4月		5月			
	2020	2021	増減	2021	2022	増減												
家庭・ 業務用	828	849	+3%	813	835	+3%	736	800	+9%	764	806	+5%	616	621	+1%	522	529	+1%
自動車用	37	37	△0%	29	30	+3%	27	26	△4%	31	31	△0%	30	31	+3%	26	30	+15%
合計	865	886	+2%	842	865	+3%	763	826	+8%	795	837	+5%	646	652	+1%	548	559	+2%

		6月 7月		8月			9月 10月				11月		合計								
	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭· 業務用	494	499	+1%	458	448	△2%	405	402	△1%	442	440	△1%	509	492	∆3%	618	621	+0%	7,205	7,342	+2%
自動車用	30	32	+5%	33	34	+2%	31	32	+2%	29	31	+8%	33	30	△8%	31	31	△1%	367	374	+2%
合計	524	530	+1%	491	482	△2%	436	434	△0%	471	471	△0%	542	523	△4%	649	652	+0%	7,572	7,717	+2%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成







【参考】 新車/月別販売台数(普通車·小型車、軽自動車)(1月~12月 全国統計)

単位(千台)

	1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	2021	2022	増減															
普通· 小型車	208	182	△9%	227	185	△19%	329	285	△14%	183	154	△16%	166	136	△18%	198	170	△14%
軽自 動車	116	91	△22%	135	105	△22%	181	142	△22%	106	91	△15%	96	75	△21%	99	98	△0%
合計	325	272	△16%	362	290	△20%	510	426	△16%	288	244	△15%	262	212	△19%	297	268	△10%

	7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計		
	2021	2022	増減	前年 年間	直近 年間	増減															
普通•	213	187	△12%	176	154	△12%	170	212	+25%	151	186	+24%	189	193	+2%	191	181	△5%	2,400	2,223	△7%
軽自 動車	97	101	+5%	88	80	△9%	87	113	+30%	80	110	+37%	103	115	+12%	89	104	+17%	1,276	1,225	△4%
合計	309	288	△7%	264	234	△11%	257	325	+26%	230	296	+28%	292	308	+6%	280	284	+1%	3,676	3,448	△6%

[※] 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成





問い合わせ先

IR·企画課 担当:今泉、中村 【TEL】03-4233-8025 【FAX】03-4533-0103 【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com

